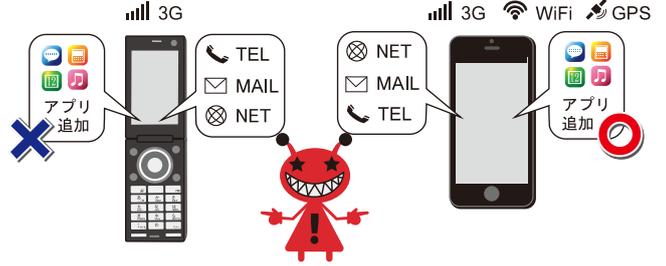


2 ちょっと待って、ケータイとスマホ何が違うの？

スマホは、小さなパソコン。性能も危険性もケータイの比じゃない！

おもに3つの違いがある

1. ケータイは、電話の機能にメールやウェブ等の機能を加えたもの。スマホは本質的にはパソコンで、電話は機能の一部にすぎない。そして、後から自分が必要とする機能「アプリ」を追加することができる。スマホのサービスは、アプリ提供者や運営者、広告配信事業者等、多種多様な企業や団体関わっているため、利用条件や安全基準もバラバラ。気をつけることはケータイの比じゃない。
2. スマホは、携帯電話会社の電波(3G、LTE等)に加え、無線LANの電波(Wi-Fi)が利用できる。
3. スマホには、GPS(位置情報)機能があり、カメラの位置情報を「ON」のまま写真撮影すると、写真の画像ファイルには、撮影した場所の位置情報が記録される。(設定等で変更できる)



■事例

ネットで知り合った人とメールアドレスを交換して写真を送ってしまった。すると、「自宅の特定ができたから住所や電話番号をネットにさらす。」と言われた。すごく怖い。むこうには自分の個人情報もわかっているようだ。メールアドレスで住所の特定などできるのだろうか？ネットに公開されると思うと心配だ。

■解説

住所などの個人情報は電話会社が法律にしたがって管理しているため、一般の人がメールアドレスから住所を調べることはできない。ところが、スマホの位置情報をオンにした状態で撮影した写真には、位置情報が記憶される場合があり、撮影場所を特定することはある程度可能。その写真をネット上に公開すれば、自分の行動や自宅のおおよその場所等が見ず知らずの人たちに知られてしまうかも。スマホで写真を撮る前に、位置情報の設定を確認しよう。また、ネットの向こう側にいる見えない相手は、身近な友だちとは違うということ意識して、メールアドレスや写真の交換を安易に行うことは絶対にやめよう。

■参考情報「保護者のための青少年のスマホ利用のリスクと対策」

(出典：安心ネットづくり促進協議会 <http://sp.good-net.jp/>)



3 ちょっと待って、コミュニティで知り合った人は本当に友だちなのか？

プロフ、ゲーム、メル友、ブログ、チャットアプリ…にひそむワナ！

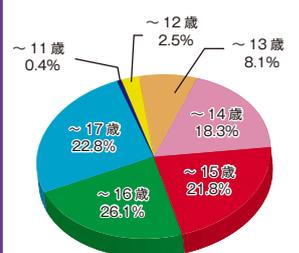
自分は絶対にだいじょうぶと思わないで

「同じ趣味をもった人が集うサイトなら、気の合う友だちが見つかるはずだし、あやしい出会い系サイトじゃないから安心」と思うのが落とし穴。実は年齢や性別をいつわっていたり、想像と全く違う人だったりすることもある。友だちのつもりで、名前や学校名を教えたら、暴行、誘拐、恐喝などの恐ろしい事件に巻き込まれてしまうかもしれない。

■解説

優しいのは、相手の狙いだったりすることもあるので、「自分の情報を教える=危険」そして「会う=もっと危険」と思しましょう。他人の写真を使うこともできるのだから、本当の顔が見えないケータイやスマホで素敵な出会いを求めないで。また、「お金をあげるから」と写真や私物を送らせる手口もある。特に顔写真は危険。相手がネットに流してしまうこともあり、一度でもネットに出てしまった写真は、あちこちにのせられたり加工されたりして、取りもどすことはまずできないんだ。警察庁の調査では、2012年にコミュニティサイトで犯罪被害にあった18才未満の子どもは1,076人で、出会い系サイトの218人より多い。コミュニティサイトの例は、SNS、プロフ、ゲームサイト。犯罪者はあやしげなサイトではなく、子どもが使いそうなサイトに良い人をよそおって忍びこんでいるので、十分注意しよう。被害者は11歳未満から17歳まで幅広く狙われていることもわかる。

年齢別の被害児童の割合 (コミュニティサイト)



出典：警察庁広報資料
平成25年2月28日
「平成24年中の出会い系サイト等に起因する事犯の現状と対策について」抜粋
<http://www.npa.go.jp/cyber/statics/h24/pdf02-2.pdf>



■「モデル募集」に応募したつもりが、女子中学生暴行される 2012年9月

女子中学生にわいせつな行為をした31才の塾講師を児童買春・児童ポルノ禁止法違反の疑いで逮捕。塾講師は、撮影モデルを募るネット上の掲示板で女子生徒と知り合い、3万円を支払ってセーラー服姿を撮影した上、わいせつな行為をした。

■航空券が送られて、自宅まで誘い出される 2012年10月

20才のコンビニ店従業員を未成年者誘拐で逮捕。SNSを通じて知り合い結婚を約束した女子中学生に「愛知に出てくれば？自分のところと一緒に住めばいい！」と言い、航空券を手配して女子生徒を愛知の空港に誘い出し、自宅に連れ込んだ。

■その他にも事件がある

最近ではメールよりも手軽に使える無料通話・メッセージアプリを使う人が増えているが、こうしたアプリで知らない人と連絡をとることで犯罪の被害にあう青少年が増えている。